明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第六巻第参號

日本基督教女子青年會

67

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子 第六巻 第參號

目次

無くて叶ふまじき者は一つなり
婦人の爲めの福音なり

說苑

祝福と活動 柏井園
女子修養の方法 井深花子

講壇

耶蘇に事へたる主婦（植井正久氏說敎）

訪問

明治初年の女學生 櫻井ちか

史傳

リービングストン、第二

もしほ草

靈性の門と理性の門
上を見よ
突き貫くまで進むべし

會報

横濱共立女學校〇ウイルミナ女學校〇大阪プール女學校〇名古屋聖使女學校〇指ケ谷傳道女學校〇宮城女學校〇盛岡女子靑年會

明治の女子定價

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五十錢	金一圓

明治四十二年三月十四日印刷
明治四十二年三月十五日發行

東京市麴町區土手三番町十五番地
發行兼編輯人 エー、シー、マクドナルド

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷人 島連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所 三秀舍

無くて叶ふまじきものは一つなり

世には無くても濟むものと、無くてはならぬものと二つある、我等が人と神に仕ふるものとして無くて叶ふまじきものは何んであるかを發見して慥に之を握り一生涯離さずして居ることは至極緊要である、耶蘇が其傳道の初めに當り荒野にて惡魔に試みられし時、人はパンのみにて生くるに非らず、只神の口より出ずる道に依ると斷信し世に何物よりも必要なるは神の言即ち神の聖意に服從するに在ることを明かにして靈の生命の、物質的生命に超越せることを示した、我等も亦永遠の生命を繼くべき準備をなしつゝある今日に於て最も大切なるものと、其較々大切なるもの、若しくは無くてもよろしきものとの區別を立てゝ必ず其の最も大切なる無くて叶ふまじきものに目を注ぎ心を留めて奮進、努力すべきである、二人の青年男女が學校に在り又學校を出て社會に立ち、家庭を治め、而して二人の其品性と事業とに雲壤の差を生ずるは偏に二人が早くよりて其着眼する所の優劣より來るのである一人は低き標準に依つて進み、他の一人は無くて叶ふまじきものに心を集注して動きたれば五年の後は漸くに其差明かに十年の後には其隔り著しきものとなるのである、而して斯の如き差等の生ずるは決して自分一身の損益のみに非らずして廣くは人類の爲め、又恐れ多くも神の爲めにも大なる得失を生ずるに至るのである故に我等は神の僕婢として常に絶へず無くて叶ふまじき最優等のものに滿腔の熱情を注ぎて奮進すべきである、而して路加傳十章の末に記されたるマルタ、マリヤなる二人が同胞であるながら耶蘇に仕事するに大なる差違あることを示すは大に我等の心を留て學ぶべき點である彼等は平常より先生とし又少くとも最も大なる豫言者として尊信せる耶蘇が其家に訪問せられし時は共に眞實に欣び最も能く其の先生を歡待せんとしたるに相違はない、然しながら妹のマルタの方は何がな御馳走をして喜ばせ、勞はらんと勤め、心を勞し骨を折つて其準備の爲めに盡くしたのである、然るに姉なるマリヤは妹と全く異なりたる體度を以て耶蘇に對した則ち耶蘇の來られし以來膝下に坐して懇に問ひしみ〴〵と敎を聞いて耶蘇の言は心の奧底にまで達し、全心を奮ひ起して神を畏れ之れに仕へんと飛び立つ思ひに滿ち、又耶蘇の敎は髓と脂とにて饗應せらるゝよりも味よきを覺へて只管に感嘆止み難く感じつゝありしならんされども一方マルタに於ては姉の此體度を見て不平に思ひ又彼女の助けを得たく願ひつゝ遂に思切つて耶蘇に向ひ之を訴へて姉をして己れを助けし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めんとせり、耶蘇がマルタに對する答は如何にも優さしく又同情を以て爲し給ふた然しながら、其れと共に耶蘇はマルタの只食事を調へて耶蘇を喜せんとするは姉の體度に比して劣れるもの、缺くる處あることを告げて懇ろに反省せんことを敎へ給ふたのである、そうして更に進んでマルタに向ひ神の子として無くて叶ふまじきことは一つにして、之れは先づ神の國と其義を求め、眞理なり、道なり、光である耶蘇より篤と其敎を聞き其靈の要求を滿たし其特權を味ふべきことにして此の如き場合に時を費やし骨を折り以て只管御馳走せんとするの愚なるを告げ給ふたのである、之れ誠に我等の大に反省して學ぶべきことではないか、我等は平常に於て果して如何なることが最も多く我等の思ひを支配して居るであらふか、我等は朽ち果つべき世の慾を慕ひ、目前の名利を求め、小事に齷齪して濶大高遠なる永遠のものを忘れつゝあらざる乎、耶蘇の膝下に拜跪して只管に深く廣き靈の海に漕ぎ行かんと勉むることの足らざるを感じつゝあらざる乎、特に注意して學ぶべきは婦人は兎角一時の感情に驅られ易く、虛榮心に役せられ安く從つて只表面のことを繕はんと勉むるものである、去れば耶蘇に從ふと云ふ時も寧ろマルタ的のこと多くして心底より生ずるの熱心と眞實とに缺くことあり、故にマリヤの如く耶蘇の膝下に坐して其道を聞くことの必要を知り之を實行せざるべからざることである。

　次に我等の學ぶことは耶蘇がマリヤは既に善業を撰びたりと云はれたることである、凡そ善きものを撰ぶと云ふ時は種々あるものの中にて其第一のものを取ることを意味するものて又雜多の惑はしきもの、劣れるもの、卑きものゝある中に其の最も優れるものを選ぶことを意味するのである故に其の撰ぶと云ふ中には注意、智慧を要することを含むと共に又戰鬪を要することを意味す、如何なる場合にも其の者が善ければ善き程尊ければ尊き程只一度之を撰定したりとて安心することの出來るものに非らず、惡魔は絕へず、我等が持てる善き者を奪ひ取らんとて我等を襲ふべき機を窺ひつゝあるなり、去れば我等は玆に奮鬪的體度を取つて如何なる場合にも第一等の善を撰ぶべきを要するなり、そこで耶蘇がマリアは既に善業を撰びたりと云ひ給へる中にはマリアが如何に常に健げに奮鬪しつゝある乎を云ひ見はされたることにして動もすれば只淺見にして外觀の成功を收めて滿足せんとする傾向ある我等は大に耶蘇の此語に學び朝起てより夜に至るまで雜多の心を惑はすものあれば假令少時間と雖浸々と耶蘇の膝下に跪まずきて學ぶの機會を待ん爲めに奮鬪せねばならぬ、然り絕へず奮鬪せねばならぬ。

　倘一事の學ぶべきものあり、耶蘇が「此は彼れより奪べからざるものと」云はれたることである、善き習慣が第二の天性になつて人が常に如何なる場合にても第一等のことを撰び絕へず靈性の發展をなし、常に先つ耶蘇の足下に跪きて其の聖意を行はんと勉むるは美しき品性にして實に欽羨に堪へざるものである而して之れは何人と雖、否神と雖之を取り給ふこと能はざる程の貴き淸きものである、而してマリアは實に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の尊き品性を養ひ得たのであつて、耶蘇は此事をマルタに告げてマルタにもかくの如き氣品を養ふべきことを求められたのである希くば我等も耶蘇よりして無て叶ふまじき者は一なり、爾等は既に善業を撰びたり、此は爾等より奪るべからざるものなりと云はれる樣に常に絕へず、イエスの足下に座りて其道を聽くの善き行をなすものたらんことてある。

婦人の爲めの福音なり

基督敎は婦人の爲めの福音なりとは經驗深き說敎者の告ぐる處其の故をと問はゞ婦人は此れ迄男子の爲めに壓せられ常に卑屈の中に送りしもの、又敎育も比較的に受け居らざりし故に絕へず、社會上の地位卑くかりしが、基督敎を聞き、キリストの敎を受け聖靈の恩化に依り、心は急に開かれて其思ひ高尙に、其情優美に、義と和の結べる果を胸に宿し且つ形に見はるゝ、至れること恰も時候順を失ふて寒かりし天地も急に一陽來復と共に百花妍を競ふが如し、之に反して男子は比較的に敎育に社會上の地位も高く日進みつゝありしを以て基督の恩化を受くるも進步漸次にして著しきもの非らず、之れ恰も時候序に依つて暖かに春蕾漸次に咲くが如けんと解說せり、此ことは我等を首肯せしむるもの多く、イエス在世の時代にあつても、又使徒時代に於ても實に熱心に主イエスに奉仕し又人の爲めに、己れを忘れて愛を盡す婦人は實に多しとす、イエスを惡み之を捕へて殺さんとするもの四方に起りて祭司長及び民の長老等はカヤバと云へる祭司の長の宅の庭に集り詭計を以てイエスを執へ殺さんと共に計れる時に當りイエス、ベタニヤの癩病人シモンの家に居たまへる時ある婦臘石の器物に價高き香膏を盛りてイエスの食する所に携來り其首に斟しかば弟子も怒を含み曰けるは此糜費のことを爲すは何故ぞや若し之を賣らば多くの金を得て貧者に施すことを得んと云へる程なり、然れども心して耶蘇の此時の事情を考ふるものはイエスの四邊は群がる暗雲取り圍みてイエスの心に最も深く何故に人々は斯く曲れるやと悲み憂ひ給ひ然も更に受くべき盃は時々刻々に迫り來ることを感ぜらる故にイエスは最も多大なる同情を、弟子等より得ることを深く望み給ふたであらう、然れども弟子等の心冷かにして且つ鈍くイエスに熱き心を献げて其の敬愛の情を表はさんとて來れる者に對しても只利害の計算をなして其の爲す所を怒れる有樣である、然らば彼の婦人の心を盡くし思ひを込めて爲したる善事は實に如何に多くイエスを慰め喜はせ奉りしならん、其他多くの善き例は新約聖書に充ちて居る、則ち聖靈の恩化に依り婦人は特に美はしき信仰の進步をなし妙しき靈の輝を四方に放つものである、尙此れは遠き昔に非らずして今日に於ても斯くの如き婦人を敎會の中に於て見ることてあつて其の芳ばしき馨は牧師を初め多くの兄弟姉妹を感化しつゝあることてある、我等はかくの如き信仰篤く敬虔深くして誠に基督の榮光を生ける身に輝やかす婦人の尙多く見はれて暗黑に沈める無數の婦人を助け導くに至らんことを切に祈ることてある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

說苑

祝福と活動

柏井園

祝と云ふ言葉は元來宗教的の意味を帶びた言葉である。「言海」を見るに「いはふ」と云ふ語の第一の意味は「犧を齎し愼みて祈る」と解いてある。「康熙字典」に引いてある解釋は以言告神謂所祝とある。いづれにしても始は人が神に對する方を云つた言葉であつたと思はれる、それが轉して神が人を祝福すると云ふやうな處に多く用ひらるゝやうになつたのは蓋し自然の轉化である。

さて祝福と云ふものは如何なるものであるかと云ふことは之を快樂と幸福の二に對照して見れば良く分ると思ふ。快樂は或る慾求を滿足さする時に生ずる精神の狀態であつて高尙な快樂もあり又劣等なものもあり、其の劣等なものになるだけ一時的で、後では却て苦痛を感ずることが多い幸福は之と相違してモット恒久なもの持續的のものである。一家に風波起たず衣食にも餘り事を缺くことなく打ち揃ふて健康で暮して居れば幸福である、學生が自身の好む學校で好む學問をして智識的の空氣を吸ふて居る、それも亦大なる幸福である。然るにこの幸福と云ふものもすべての人が受けることは望むべからざることゝである。世の中には富める人よりも貧しい人が多い。得意の人は少い。幸福であるとは云へない。病人は隨分多い。此等の人々には大抵先づ快樂はない、幸福と云ふものがあり得るであらうか境遇に支配せられない幸福と云ふものがあり得るであらうかそれは即ち祝福である。神から賜はる所の幸福である。この祝福は貧しい人、苦める人、病める人でも求めさへすれば之を受けることが出來る。無論富める人、健康な人、立派に暮して居る人でも祝福に與れぬことはないが、時には幸福の多いため反て祝福を求むる精神を失ふことがないとも限らぬ。或る人は家庭の餘り幸福なためその溫な空氣に元氣を融かされてしまつて精神的に死ぬるやうな事實もある。家庭を幸福にするは女性の責任であるが、それかと云つて男子の雄心を銷鈍さすることは大なる罪惡と云はねばならぬ。抑く祝福は活動に伴ふことが多い。極手近い事を云へば寒い冬の朝火鉢を擁して家に居るは樂しいであらうが、刺戟の多い戶外の空氣に觸れて血液の循環が盛になり精神に元氣を生ずる心持は更に愉快であると云はねばならぬ。これを祝福と云ふにはあまり物質的であるかも知れぬが、つまり人の內に潜んで居る精神氣魄を喚起せられ自ら覺知しなかつた力の活動するを感ずるとき非常な祝福を感ずることに至る、狀態は一樣でない。例へば我等が誘惑に克ち得た時の心の狀態の如きその一である。イエスが野で惡魔の誘惑を受けて勝利を得られたときに、天使來り仕へたと聖書に記されてある。イエスの感ぜられた祝福の豐けさ、心の凉しさは想像せらるるでないか。人は又立派に義務を果した時には云い難き祝福を感じた。そ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れから義務以上の事（嚴密に云へば義務に際限があるはずはないけれども）を爲した時、イエスの言を以て云はゞ、一里の公役を强ひられた時に二里行ひた時、上衣を取らんとするものに下衣をも取らせた時。受くるものよりも與ふるものに多い祝福を感ずるであらう。神は積極的の神、活動の神、義しい神の恩を與ふる神であるが故に、神の御心に適ふ活動をした時我が心に音樂の響く如く感ぜらるゝは然るべき事である。それにしても自分が善い事をなしたことを自負し自ら高ぶるならば神の祝福に與ることは望み難いことである。祝福せらるべきものは心の貧しきもの餓へ渇く如く義を慕ふものでなければならぬ。それから祝福は活動に伴なふと云つても必ずしも身體を活動せしむるに限らぬ、眞の活動は神の前に心靈の活動することである。たとへば我等が病氣にかゝつて全く何等の業をも成すことのできない時には、我等の心靈は大なる活動をなして大なる祝福を受けることが出來る。ロボルトソンニコルの文集の中に『夜半と茶』と題する一文がある。一人の婦人が苦痛の多い病氣にかゝつて長らく病の床に呻吟して居る。處が夜半など時々病苦の休む時がある。其の時は一人の看病して居る婦人と「お茶を入れましやう」と云つて一盞の茶を飯みながら話をする、如何にも心慰むことであると云ふやうなことが書ひてあつた。茶を飲むでさへかく心ゆくことであれば、まして、心澄みわたる晨など我が靈魂の響きを聞き靜に神と交通するならば如何に恩惠多きことであらうか。これは決して時的の想像ではない。信仰ある人なれば誰しも多少味は知れることとてある。

それから祝福は活動を完くする祝福の添はない活動は玉の杯の底なきが如きものである。アリストートルは快樂は物の作用を完成する宛も桃の實や又頰にさして居る紅色のやうなもので、これがなくては完成しないと云つて居る。祝福に於ては益々其の通りである。キリスト之を與へんとて我等を招き給ふ。

女子脩養の方法

井深花子

女子脩養の方法で御座いますが、前以て考へました上に御答へしますと、いくらか宜敷いので御座いますが、然うで御座いますね、それでは、御尋ねの間には合つて居ないかも知れませんが、私が去年の暮れから考へて居ます事を御話し致しませう。

女子の脩養といふ事は學校に出て御出なさる方は充分出來ますのですけれども、家庭に入られた女子は今日何うしても脩養する時が少ないので御座います。それでは何うしたならば家庭に入つた女子が脩養する事が出來るかと申しますと、日曜日を此の脩養に充てるので御座います。先日も是に似寄つた事を或會で御話致したので御座いますが、近頃は大分日曜日には何でもしてよいといふ風になつて參りまして、昔の様な仕事をしてはならぬ買物をする事が出來ぬといふ事が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

薄らいで參りました、從つて愈々日曜日を脩養の日として聖別する事が困難になつて參りました。私の宅でも色々世話がありまして日曜日を日曜日らしく送る事が出來ず、斯うして毎週三日は、學校へ出まするし外の日は親類に病人があつたり買物に出たり、それですから日曜日には何うしても仕事が出て參りまして、午前中は日曜學校に敎へ引續いて禮拜にも列りますが、午後は宅に居りまして可成靜かに考へて暇を得たいと思ひましても矢張何や彼やの仕事をせねばならぬ樣になり、平常外出勝で御座いますから掃除も届かない處があり餘り穢いと思へば箒を取り度くなりますし、女中に不行届があればつい矢張叱らねばならぬ事になり、敎會に出たり宅に居たり外見上は如何にも立派に日曜を守つて居る樣でも心は何時も動いて居るので實際に於て日曜日といつて變りはありません。それで御座いますから身も心も年中ふわついて其年も暮れますので、年末になつて何時も後悔ばかり致す樣な仕末で御座います。て私は、是れではならぬ、何うしたならば宜敷からうとは、實昨年の暮れにいろ／＼と考へたので御座いました。それで、自分の脩養も致し有益に日を送るには何うしたらよいかと申しますに、日曜日といふものを本當に日曜日らしく送り此の一日を全く脩養の日とし度い、それには何うすれば宜敷いか、私は日曜の前の土曜日をも聖別し度いと考へました、聖別と申しましても日曜日を聖別するのとは元より違いますけれども、土曜日のを、日曜日を迎へる順備の日とし度いと考へたので御座います。日曜日には何も爲す仕事がない樣に總ての事を土曜にして了つて置くのでありますそして。日曜日には心を落着けて本當に脩養の日とし、祈りと讀書を致しまして靜かに自己反省に力め度いと考へました。外見計りの日曜でなく本當の日曜を送るので御座います。斯う考へて私は直ぐ實行しまして五六週間續けて參りましたが、此二三週間は親類に不幸が御座いましたので實行が出來ませんでしたけれども、私は此一年を斯うして實行して參りましたら、年末には幾らか滿足が出來る樣になるかと存じて居ります。

以上は私の實驗で御座いますが、家庭に入つた女は何うしても一週に一度、日曜日を以て精神脩養に充てたが宜敷からうと存じます。精神の上に有益なるのみでなく肉體も休まります。それに毎日／＼そか／＼と働くのは誠に不利益な事で其間は全く自分と云ふものを忘れて居るのでありますから、日曜日には何事もせず外の事に思ひ煩はずに、靜かに自分といふものに立ち歸つて見、即ち自分の立場を顧み、又自分の理想が何の位の處迄果されて居るかを見る必要があらうと存じます。

先日の會では矢張其麽お話を致したので御座いますが其時は未信者の方も被居いましたので、私は、日曜日でなくとも一週に一日位は是非靜かに自分を顧み又修養する事が必要であらうと申して置きました。

近頃は日曜日には餘程家族打ち連れて外出し一日を樂しく送るといふ事が多くなりました樣で御座いますが、是れも考

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へものであらうかと存じます。無論よろしい事では御座いますが、樂しむといふ事には何方かといへば弊の方が多い樣に思はれます。芝居等へは私共平生でも參りませんので勿論日曜日に參らう筈も御座いませんが、お花見に致しましても實際に於て目に見耳に聞く處の感化はよろしくない方が多いかと存じます。樂むといふ事は私共の生活には固より大切な事に相違ありませんが、外に樂しむ方法があらうかと存じます。郊外に出て遊ぶと申した處で家族打連れて參りますより、一人靜かに出て、野や庭で靜かに自分といふものを反省する事は、脩養といふ上から誠によい事と思ひます。

それから日曜には聖書のみでなく外の本をも讀むといふ事が脩養には大切な事で御座います。總體私は修養するに三つの事を持つて居ります。祈禱、瞑想、讀書で御座いますが前二者は前にお話申上げましたが、さて脩養の爲めに讀む本は何がよからうと申しますに、小説といふものは弊があらうと思ひます。修養といふ側からは餘り利益は御座いません。それて私は矢張偉人の傳記が一番宜敷からうと思ひます。傳記と申しましても女でも矢張ゴルドン將軍傳等がよからうと存じます。唯今は私餘り讀む機會を持ちませんけれども私の讀みました中大層よいと思ひますのは英文のでは「フェーマス、ウーメン。」それからムーデー傳等で御座います。其外私は宗敎雜誌は可成讀む樣に致して居ります。（文責は記者にあり）

耶蘇に事へたる主婦

此れは去る三月四日富士見町敎會に於て渡邊松子の葬式を營まれたるとき植村正久氏の述べられし大意を筆記したるなり。（記者）

『我既に善戰をたゝかひ、既に馳しるべき途程を盡し、既に信仰の道を守れり。』（提摩太後書四〇七）

故渡邊松子のことを掻撮んで申せば、其の父は岡山藩士渡邊忠吾平君、其の母はとき子、松子は文久二年（西曆千八百六十二年）四月十二日岡山市六番丁の家に生れた。二歳にして父を失つた。然し母は明治十五年まで存命へて居た。松子十九歳にして渡邊莊君と結婚し、明治十四年より大阪、東京横濱等に移られ、遂に再び東京に出て死する迄住まはれたのである。

其の始めは窮苦のなかに生存競爭場裡に立たれた。他の反對多かりしに拘らず、學校に入りて勉學せんとする良人の志に贊成し、樣々に苦勞して之を助けられた。資性正直にして、頭腦明敏、事を處するの才能があつた。家道漸く整頓するに及ぶや、松子は其資財を他人の爲に用ふることを心懸けた。基督敎を信ずるに至り、殊に此精神は著しく增進した。使徒行傳第九章三十六節以下に曰く『ヨッパに女の弟子あり、タビタと名く、譯けばドルカス、彼は多くの善事と施濟を行へる者なりしが、そのころ病みて死にたるにより其屍を洗ひて樓に置けり。ヨッパはルッダに近き故に弟子たちペテロの彼所に在ることをきゝ、二人の者を遣はして我等に來

るゝことを遲くする勿れと請はしむ。ペテロ起て彼等と偕にゆき、既に至りければ人々かれを引て樓に登る。凡の寡婦たちペテロの側に立ちて哭泣きつゝドルカスが偕に在りしとき常に作れるところの上衣下衣を彼に示す。と。我々は今松子のことを考ふるに當り、此のドルカスの話を思ひ合はざるを得ない。

基督教に志を運べる當初、彼は余に向ひ將來は孤兒救濟や貧民教育の爲めに力を盡したしと云つて居た。之に敎を勸めた渡邊千代江氏にも屢ば此の志を話されたことであつた教會に於て彼は早くから傳道の事に熱心であつた。彼に敎保たることを依賴したものは十七人の多きに及ぶ。此の教會には敎保と云ふものがあつて、洗禮を受けて教會に加はるゝ時其の人の後見人の如くになり、之を導き、之を奬勵し、共に祈ることになつて居る。彼が十七人の敎保たる一事を見るも如何に傳道に熱心であつて、人を導くに力と盡されたかが解る。最も喜ばしきは其の家族の傳道に努め、常に之が爲めに祈り。且つ心を碎いて居たことである。其の結果一家擧つて信者となり、其の家族の多くも敎を信ずるに至つた。會堂の建築委員の一人として熱心に盡力しまた親切に會員を訪問せられた。實に彼は教會に於ける同情の天使であつた。婦人會の委員として常に骨折られたのみならず、前後二回鵠沼に開かれた婦人夏期學校の爲めに有効の盡力をせられたことである。教會に於ける其の功勞は決して尠少でない。

死者の惜まるゝに二種ある。良人とか、妻とか、親子とか兄弟とか、朋友とか云ふときには、其の品性の善惡に拘らず其の死を惜しむのが人情である。勿論己を愛してくれたものから惜まるゝのは喜ばしいに相違ないが、また己が深く愛して心盡しをしたものから痛く哀惜せられることは甚だ貴いものである。此の世に於ける亡友松子は此等二つの意味に於て其の死を惜み嘆かれる人である。

彼は明治二十九年一月五日信仰を告白して一番町教會（此の富士見町教會がまだ一番町にありし頃）に於て洗禮を受けた。爾來一層其の性格の光が輝いた。家のものにも、友の目にも、彼が身の行から、精神の上まで一大變化を來したことは鮮かに見られたのである。醫者の語るところによれば彼の信仰は其の病氣にも著しい影響を及ぼした。彼は年來ヒステリイ質の人であつたが信仰に入りし爲め全く其の害を免るゝことを得た。且つ此の世で何をしやうかといふ、其の生存の規模が信仰によりて大きくなつた。高尙なる意味に於ける生活の功名心、其の目的、其の理想の規模が著しく大きくなつた殊に余の如きは十四年間始終交際した間に、彼の頭腦の進步智力の展開、理性の發達は驚かるゝはかりに感ぜられたことである。難かしい理屈も解るやうになり、深き問題をも理會するに至つた。十四年前始めて逢つたときと近頃とは雲泥の差であつた。英國の牧師ヒユウ●プライス●ヒユウスが死した後、其の娘父の傳記を書いた。其のうちに彼は信仰に入つて其の靈的の門戸が開かれたと同時に、理性の門戸が開かれたと云つて居る。是れは宗教上多く見受ける愉快なる事實てあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。松子の如きは其の著しき實例である。十分な教育を受けたものでなかつたけれど、其の頭腦の進歩は多くの書を讀んだにも優つて居る。其の意志は益す强くなつた。生來才のあつた人であるが、信仰に入るとゝもに其の才よりも意志が强くなり、巧く遣るよりも確實なる意志を以て貫く樣になつた

宗教の方面には祈ることに重きを置き祈りの實驗を語られたことも屢はであつた。彼の生涯は祈りの多い生涯であつた。祈りによつて意外に多くの成功をした人であつた。余は年齢に於て稍彼よりも長し、教育に於ても、信仰に入りし前後から云ふも、彼の先輩と云はねばならぬ。然かし交際して居る間に余は屢ば彼を姉の如く思ひ、折りには母のやうにまで感じたこともあつた。實に彼は信仰によりて凡ての點に著しき進歩をなした。余は平生此のやうな場合に濫りに賞め上げることを好まぬものである。余が松子について述ぶることは、決して賞め過ぎて居るとは思はぬ。彼女を知るものは誰しも然うは感ぜぬであらう。如何にして彼は斯の如く進歩することを得たか、其の教友が斯く誇り得るほどの進歩を如何にしてなし得たか。余は其の進歩の跡を考へ、自ら顧みて進むことの鈍きを耻ぢ、彼に於て大いに學びたく思ふ次第である。其の靈魂は透明るやうに誠實であつた。欺かざる靈魂であつた。又不思議に喜んで精神上、思想上、道德上の利益を受け容れる力を持つて居た。貶すとか排斥するとか云ふことは其の本色でなかつた。人の善いこと、賢いこと、誠なること、高尙なること、親切なることなどを味ふて、己が心に之を酌み取り、之を重んじ、之を貴び、深く考へて、思ひ廻らす實であつた。余が何か此れはと思ふやうな善いことでも云へば直ぐ受け容れて之を實行された。甚だ眞面目である。余は之が爲めに語ることを愼まねばならぬと感じたことが屢ばである。また斯の如く語るところを味ひ、之を感佩せられるので余は少なからず奬勵を受けたのである。善きことを勇んで遣るにも常に力を添へ後から絶えず援助されて居たことである此は彼を知るものゝ男女ともに多く同感せらるゝところであらうと思ふ。

松子は斯く適用することの速かなりしのみならず、良心も非常に敏捷な人であつた。取り分け病篤くなるに及び、己が罪惡を感ずること深く、斯の如き罪人が救はれ得るや否やとの氣遣ひを少時は懷かれて居つた樣だ。眞面目に罪惡を感ぜられたのである。かくて耶蘇の十字架の贖罪に感泣し、其の不思議なる効力を實驗することを得たのである。

世を去らるゝとき長男は外國にあり、家には幼ない子、是から色々心に懸るべき筈の成長した二人の女子がある。また彼が亡き後には獨身となつて重い責任を負はねばならぬ良人もある。此等のことを考ふれば其の臨終はさぞ心配が多かつたらうと誰にも推察することが出來る。事實は然うでなかつた。が病的に恍惚として居たのではない。且つ人間の愛情は終りまで濃かであつた。一層深きを加へたに相違はない。然かし其の臨終の間際には只だ天の事、死後の事が鮮かに考へられた、彼の知つて居る死んだ人の名を呼び、面のあたり語

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を交へたやうに見えた。例へば余の母の如き曾て其の面を見たこともないのであるが、余から其のことを聞いて居た。余は母として之を賞めたこともあらう。また賞める價値がないとも思はないのである。それて彼は天において余の母に逢ふことを樂しみにして居られた。神の國、靈界の限りなき生命が深く鮮かになり、確かに充實して居た。之が爲めに心配の多かるべく思はるゝ事情にありながら、餘り多く思ひ煩はず雲井遙かに飛ぶ鳥には彈丸も達せぬが如き概があつた。吾らは實に貴い病人と其の死際とを見せられた。天が其の靈魂を占領して居た。

遂に三月一日の夜十一時五十分と云ふに、忽ち此の世を去つて、其の希望せる一層高尙なる境遇に進み、限りなき生命の實驗が世にありし時よりも鮮かになつたと信ずる。其の息絶ゆるや直ちに良人は彼のともに暮した一生の爲め、及び其の信仰ある死の爲めに神に感謝の祈りを捧げた。

松子の死せんとするときの意識を問ふたならば、確かに「我既に善戰を戰ひ。既に馳るべき途程を盡し、既に信仰の道を守れり」と答へたてあらう。

明治初年の女學生

（櫻井ちか子女史の談話）

本郷彌生町三番地に櫻井女塾と云ふ私塾がある。專ら英語を敎授し、寄宿舍の設けもあつて、現在數十名の學生が寄宿して居る。又此所に寄宿して居て他の學校に通ふて居るものもある。其の設立者は櫻井ちか子女史である。女史は明治の初年から英學を修め、數回米國に渡り、各地の女學校を經營し、日本の女子敎育には貢献する所甚だ少なくないことである。夙に基督敎を奉じ、其の良人(櫻井昭悳氏)を助けて諸方に傳道せられた。我國の女子敎育の歷史を書くものは必す女史の名を記すことを忘れぬてあらう。

●●●●●●●●●●●

昔の女學生は苦んで勉學せり

女子此程記者の一人に己が女學生時代を回顧して語つて曰く、

私は最初に神田佐柄木町にあつた芳英舍と云ふ學校で英語を學んだのてす。其の學校は明治四年頃設立せられたもので、校長は齋藤實隆氏の夫人つね子と云はれた方でした。其の方は大學南校の敎師ライルソン氏の夫人について勉學した人て、私が其の學校に入學したのは明治五年でした。最初に敎はつたのはウヰルソンのリイダアですね。此間も或るところで湯本武比古氏に御目にかゝつたとき、私もウヰルソンを讀んだと云はれたので、其れてはウヰルソン會とでも申すものを設けて昔の英學者が集つて昔話でもしたら面白いてせうと云つたことてす、今日ては齋藤の文典とか、神田の文典とか色々便利なものが出來て、學生は樂に勉强が出來ますが、私の學生時代には其んなものは何もありません。其れで私共が二年三年かゝつて辛と探り當てたことも、今は一冊の書を見れば直ぐ解るやうな次第てす。例へて見ますれば to と in との違ひは何所にあるかと云ふやうなことは、少し英語を學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んだ學生は知つて居ますけれど、私共は此の相違を理會するまでには隨分苦心したものです。其んな工合ですから、昔の女學生は今日の方よりもズット苦しんで學んだものです。

●●●●●●●今の女學生は自修力乏し

其の頃の女學生と云ふものは皆な志があつたものです。それで苦しい事も厭はず、自ら進んで勉强し、何うかして西洋の學問に通じたいと望んで居たのです。斯う云ふ意氣込みですから、隨つて勉强の仕方が違ひます。第一今日の女學生と比較して考へますと、昔のものは自修力が强かつたですね。自分が獨修して十分に合點の行くまでは、教師は中々教へてくれないのです。私は後に福澤さんの塾に這入うと思ひましたけれど、女子は入れないと云ふので、私の宅に一人の書生を置き、其れを福澤さんの塾に通はせて、其の學んだところを教へて貰つて居たのですが、其のやうな家庭教師でも中々教へて呉れないのです。已むを得ず獨修をせねばならないんですね。然かし其れが裨益になりましたよ。一字一句でも腹に入らねば進まれないのですからね。今日の學生は其の邊が餘ほど違ふやうです。津田さんの英學塾などに行く方は何か志のある人が多いでせうから、隨つて一生懸命に勉强する方も多いでせう。然かし自分の嗜みに英語でも學んで置かうなど云ふ方になると、少し下讀みすることなどを嚴しく申しますと來なくなるのです。また今日の學校の仕組はそれほど苦まなくとも濟むやうにしてあります。然かし其んなことで本當にものになりませうか。私共の塾では塾生がせめてアラビヤン●ナイト位でも樂に讀めるやうにして上げたら、家庭を持つた後にも色々な點に利益であらうと思ひますから、私の方では熱心に骨折つて見ても御當人が其れほどに熱心になられぬので困ることもあります。

●●●●辭書の高價

私共の學生時代には教科外の書物も熱心に勉强したものです。其の頃は今日のやうに拔萃したものもなく、皆な舶來ものばかりでせう。値段も中々廉くなつたですね。ちよつとした書冊でも一二圓は出さねばなりません。其の頃の一二圓といふ金は今日の幾倍の價値に當るのですからたまりませんよ私が始めて買ひました英和辭書は開拓使版でしたが、其れが七圓でしたね。ヘボンの辭書が十五圓、日就社で發行して柴田昌吉といふ人の辭書も十五圓でした。其の辭書は當時評判のよかつたものです。(女史は其の古き辭書を携へ來りて記者に示めされた。明治六年の發行である)。十五圓と云へば今の五十圓にも當りませう。中々容易く學問は出來ませんでした。

●●●●●學問の動機

芳英舍に學んだ女學生は當時百名ばかりも居ましたよ。其のうちには今の戸川安宅さんの奥さんや、福地源一郎さんの娘も居ましたよ。私は十八歳のときでしたが、其のうちの年寄株でしたから、十四五の方が多かつたのです。若い方はまだ自分で何う斯うといふ考へもなかつたでせうけれど、其の父兄の方が開國の初めではあり、西洋の文明を知るに熱心で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あつた頃ですから、女子も學問をせねば時世に後れると云ふやうな譯で其の娘や妹を學校に出して居るのです。私共年取つて居たものは自ら志を立て必要を感じて學問に志したのですから、中々熱心なものでした。まだ英語の世來る人の少ない頃ですからね、ウキルソンの第一リイダアが讀めれば敎師になれたものですよ。

昔の女學生は從順なりき

昔の女學生は敎師の云つたことに眞實に從つたものです。明治二十年私が大阪に居た頃のことですが、今女子大學の敎授松浦政泰さんの妻君になつて居る方は私の學校に居られたので、此の間も同時代の方が二三人集つたときに、松浦さんは其の頃の學生は正直でした、私が兄の所に行つた折、歸りに車で送らさうかと申しますけれど、日曜に車に乘つてはいかぬと敎はつて居たものですから車夫に附いて來てもらつて態々步いて歸つたことがある位ですといつて居ましたが、ほんとうに然うでした。

矢張り大阪の一致女學校時代のことですが或る日一人の未信者の學生が來て『先生私は何うしても主の祈りが出來ません』と云ふのです。何故ですかと質すと『だつて先生私は他人の罪を赦すことが出來ませんから、他人の罪を我が赦す如く我の罪をも赦したまへと云ふことは何うしても出來ません』と云つたことがあります。信者でないものでも其のやうな正直な眞面目な心持でした。

"Heavenly Father smiling upon me."

一日ウキルソンの讀本のくちにある詩を讀んで居ますときに、私は "Heavenly Father smiling upon me." と云ふ一句に至り、何うしても其の意味が解らない。敎師に尋ねるけれど只だ宗敎のことだらうといふのみで要領を得ない。それからして到頭築地のタムソン夫人の許に行き、聖書を研究するやうになつたのです。私が信仰に入つたのは此の『天の父は私の上に微笑んで居れる』てふ一句が導きとなつたのです。私は芳英舍に一年半ほど學んで、それから家庭敎師に就き、其の次ぎにタムソン夫人から英語を學んだのです。

女子敎育の發端

明治九年頃ですね。宅は其の頃海軍の士官でしたから、海軍々人の妻君がたで英語を學びたいと云はるゝところから、其の方々を敎へる傍、男女の少年を集めて小學校やうなものを開きました。其の家は麴町區中六番町（東郷坂の通りを女子學院に曲る右角）でした。其の頃郷順造氏の娘も來ましたよ。海軍中將西村氏の妻君になつた人も來ました。高等師範學校に入學する準備に漢學を習ひに來た人もありましたよ。其の頃は日本外史や、十八史畧は暗記する位に讀まされたものです。西南戰爭の時には出征軍人の家族も預つて居ました

函館師範學校敎諭となる

十四年頃まで其の學校（三番町に移り、又中六番町今の獨乙敎會のある所に移る）を經營して居ましたが、遂に之をミッションの方に讓つて私共は函館に參りました。（其れが即ち櫻井女學校で、後ち築地の新榮女學校を合併して今日の女子學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

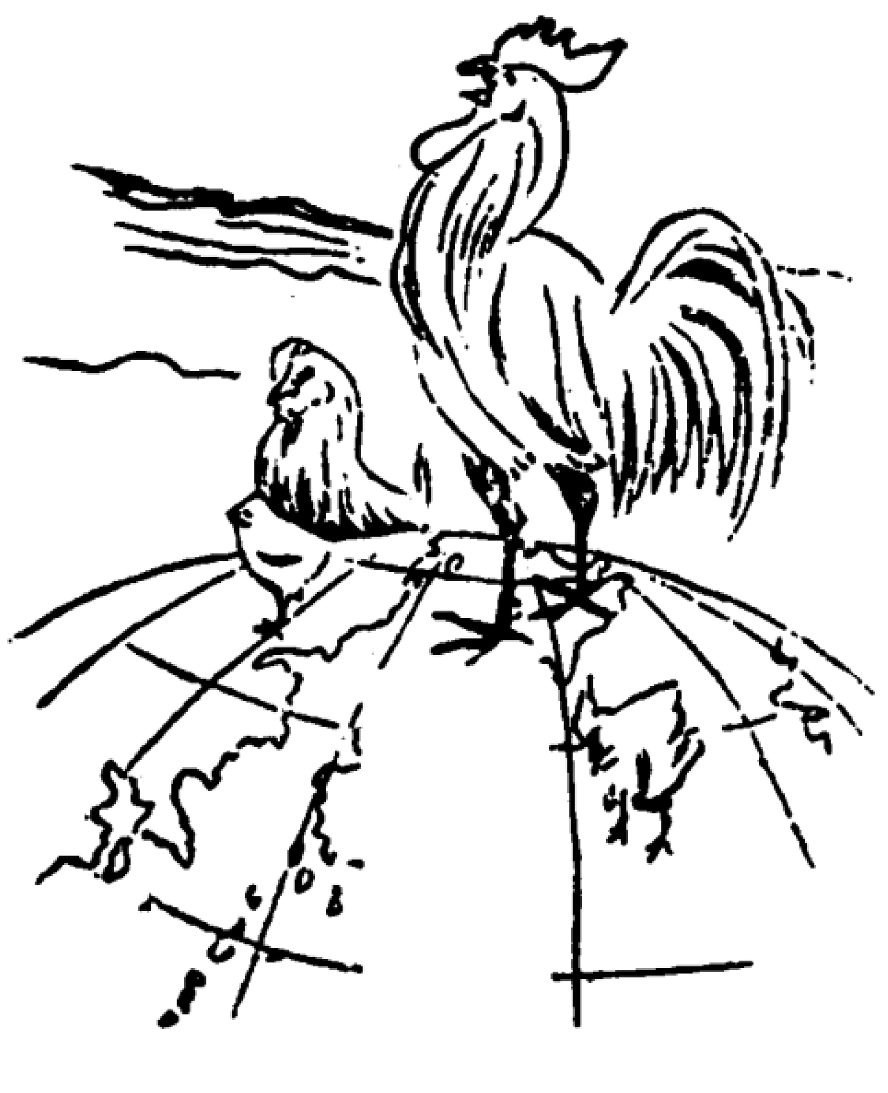
院となつたのである。）函館に行く前に文部省の方からは私の女學校を一層擴張してはとの勸めもあつたのですが、考ふるところがあつて函館の師範學校の教諭になりました。私の抱負は北海道には札幌農學校といふ立派な學校があるから、之に對して立派な女學校を建てたいと思つたのです、が思ふ通りにならなかつたのは殘念です。函館では夜學校を開いて多くの青年に教へました。今日函館教會の長老をして居る人々は其の時の學生です。私は到るところで此のやうな學校を開きました。

●●●●●●●●●●●櫻井女塾は經驗の果なり

其れから宅が病氣をしたものですから、高知、大洲、大阪敦賀等に行つて、再び東京に歸りました。然うです大阪の一致女學校（後浪華女學校と改め、更に先年ウヰルミナ女學校に合併した）の創立の際ミッションから依賴されて其の衝に當りました。明治十九年のことです。私は敦賀に行きますときに娘を何處かへ托したいと思ふて心配しましたけれど、何うも思はしいところがないので、遂に横濱の二百十二番、共立女學校に托したのです。其のとき私は何所か地方の女學生を親切に世話してくれる塾のやうなものがあれば好いとつく／＼思ひました。其れが今日の櫻井女塾を起すに至つた動機です。それで此の事業は各地で經驗した結果とも云ふべきものです。今日では女子青年會寄宿舍など云ふものも出來ましたけれど、私の此の事業を起した時にはまだ何所にも此の樣な設備はなかつたのです。

●●●●●西洋料理會

話が元に返りますが、明治十二年番町に居た頃ですね、女子の智識を進め見聞を廣くせしめねばならないといふので、島田三郎さんや、河津祐行さんなどが夫婦ともに一緒に集つて、講話會を開いた。然し講話だけでは親しみがないので、食を共にすることにした。食べて了うとまた默る。それではいけないといふので料理會を開くことになつた。コックを雇ふて正式に西洋料理を習つたのです。加藤弘之さんの妻君も其の會員でした。會費が三十五錢といふのですから當時では隨分御易くなかつたのです。今日も私の方で用ひて居るストープは其の頃購ふたものです。其の時敎へに來てくれたコックは今年七十幾歳で尙ほ達者に暮して居ます。



史傳

デビッド、リービングストン(二)

デビッド、リービングストンの心臓は亞弗利加のイララの一樹の下に埋められ其骨は「ウエストミンスターアブベー」に置れしと雖彼の精神はいよ〳〵活動して止まなかつたのである彼の生涯は決して死の記錄に依つて終つたものでなかつた、「我れをして我事業を成就せしめよ」との彼れの心の叫は答へられたのである、然り彼の想起せざりし方法に依つて完全に應答せられたのである、彼れの死と人の心を動かすべき彼の死の事情が世間に公けにせられし時、人心に起せし所の感動は彼れが生きて自ら其の事業を成就し而して其晩年を鄕里に於て送りしよりも、よりよく勝れる多くの事業を亞弗利加の爲めに成就したのである、イララの小屋の中の寢床に跪まずきし彼れの疲れ果てたる身より、萬人の心を活かすべく、四方に電氣が飛んだのである、政事家は之を感じたりき、則ち嘗て彼れの認めし奴隷廢止に關する報告と計畫とは新らしき活力を以て政事家を勵ましたのである、商人は此電力に觸れたりき、そうして誠に熱心に如何にしてか此大陸に道路を開拓し鐵道を布設して海邊より中心にまで商業を普及すべきかを企つることゝなれり、探撿家は之を感じたりき、則ち未知の危險なる新らしき舞臺に向つて貴き企圖を以て進むべきを決心したりき、宣敎師は之に觸れたりき、則ち過去の自己の柔弱と不信を大に戒め自らの信仰と献身とはより高き水平線に上げらるゝことを知りたりき、故に「リービングストンの事業は決して朽ず亞弗利加は生くべし」との證明は萬人の異口同音に、又心底から發する稱贊にして恰も是全世界の基督敎徒が集會してかくの如き決議をなしたるが如くてある。

今茲に一言リービングストンの勢力と感化とを通じて如何に亞弗利加に於て傳道の事業が愕くべき擴張をなせしやを述べんに、彼れは毫も感情に訴ふる方法を取らざりしとは雖、彼れは傳道地に人を引付けることに於て稀有の勢力を有した彼れ獨特の靜かなる方法に依つて傳道志望者を得しのみならず、其の職に對する熱情を彼等に吹鼓したりき、彼れが少時大學を訪問せし爲めに何人よりも多くの人々を亞弗利加に送りたり、恰も彼れは靑年の心に人間生涯の企圖に付き急に新らしき光を點じたるが如し或る人彼れに向つて言ひしことあり「貴下のケンブリッジ訪問は決して決して永劫消へざる燭臺に火を點したり」と。

亞弗利加の傳道地に於けるリ氏の感化の結果を一瞥して忘るべからざる最も貴きものは、彼れの何處の傳道的探檢に於ても、夫れと共に遺せしものは彼れの穢れざる名譽と、輝ける基督者的の品性なりとす、彼れが亞弗利加に上陸して以來終りの日に至るまで、神の恩惠に依つて土人の信任を得んと勉めし大なる手段は彼れが絕へず耐忍して善き業をなせしにありとす、彼れは最も賤しき土人に對しても恰も故國に於け

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る最貴の社交場裡に在るが如く最も注意して克己と自重の體度を持したりき、野生的暗黒の地方に於ける道徳上の弛頽は少しも彼れの心の調を卑くせず又基督者若しくは文明人の資格を減ぜざりき、虚欺は土人の中に普く行はるゝものなりしを以て品格の高き人と雖、時々其損害を享けしがリ氏に於ては其の品性の純潔なる爲めに如何なる汚れ又悪も之れを害する能はざりき、彼れの從僕たる土人に對し、其約束を守りしことは啻に其地に於てのみならず、世界に於て驚愕と賞讃とに價するものなり、彼れが土人を信任する有様は實に奇異なりとする程感ずべきものにして、彼れが武器を飾したる軍人を以て圍繞せられたる酋長に近くも彼れが平常の様子と親切なる笑ひ顔を以てして恰も故國に於て友人に對すると少しも異りたる有様なかりき、リ氏が如何に亞弗利加人の爲めに尊重されたるかは左の一事に於ても知ることを得べし。

千八百八十年四月十二日大學傳道會のシ、メープル氏が亞弗利加の一地方を巡回せし狀況を地學協會に報告せし書中にメ氏が一土人に遭へる時彼れは其右の肩に慥に英國製と見ゆる古上衣を着せしが彼れはメ氏に告げて曰く十年前此上衣を與へし白人と旅行せしが、一度彼れに會晤せしものは生涯決して彼れを忘る能はざるべし、彼の白人は黒人を遇すること恰も己れの兄弟の如くするを以て彼れに關する記憶は彼れに交はりし黒人が死せし後も永くロブナ谷には遺るべし、むしや〱したる髭、丈短き形、然も言語常に温和、容姿常に親切に、首領として彼を仰ぐは、我等の特權なりと感じ、萬人の心を得るの道を知るは實に此白人なりき」と。

我れ基督に似るを得んとはリ氏の幼よりして永き生涯の間、献げし祈禱なりき、而して其祈禱は大に成就せられたりき、總てリ氏に次で亞弗利加に往きし宣敎師に取つて非常なる利益は彼等が實際的基督敎とは如何なるものなるやを說明せんとせば彼等は單に其名は萬世亞弗利加の恩惠者の第一に加へらるゝものゝ生涯と品格とを示さば足ることとなりとす、一外人は云へり第十九世紀に於ては白人は黒人より人間を作りしが、第二十世紀に於ては歐洲は亞弗利加より一世界を作るであろふ」と、而して斯の如き一世界が作られ時を經る每に賢きアフリカ人が其國の起りを顧みる時、恰も英國がアルフレッド王の時代を思ひアイルランドは聖パトリック、蘇國は聖コロンバ、或は合衆國はウヲシングトンを思ふ如く、彼等が最も輝ける記憶を以て其名を飾るものはデビッド、リービングストンの夫れである、多くの旅客は杖を引いて嘗てリ氏の探見せし地方を見て至大の興味を有するならん、而して特に彼れの心臟の埋められつゝあるイララに於ける宏大なる紀念碑に對しては永劫に敬意を表すべし、而して說敎者、敎育者は此偉人に就て語り、又父が其の子等にアフリカが此仁者に負ふ所のものを告ぐる時に必ずや一大疑問は我等の中に起らん、則ち何者が能くかく彼れを偉大ならしめ且善良ならしめしかとの之れなり而して明白なる答は基督の愛彼れを勵まし、彼れをして亞弗利加の爲めに生き且つ死せしめたりきと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

もしほ草

靈性の門と理性の門

此ほど或る集會に臨みしに、恰かも其の前夜一人の信仰厚き婦人此の世を去りしため、其の人のこと何にくれと語り出でられ、涙もて輝ける喜び、悲みもて聖別されたる感謝見えたり。

或る人、世を去りし友のことを思ひ出で、げに彼の女は僞りなき人なりき．我が交はりし友人の中にても彼の女ほど誠實なるは多く見るを得ざるところなり、基督に於て結びし友垣の貴さよと云ふ。之を聞きて他の人また云はるゝやう、信仰によりて其の生涯に著しき變化を來せる愉快なる事實古へよりいと多し。彼の夫人も其の著しき實例の一つなり。彼の信仰は其の肉體にも大いなる影響を與へ、久しく苦しめるヒステリー質の病よりも救はれたり。加之信仰に入るとともに其の理性も著しく開發せられたり。餘り教育あるものにてはあらざりしも、事理を辨へ、難しき理窟なども會得せらるゝやうになり、十數年の間に於ける長足の進步は實に驚くべきものなり。英國の牧師ヒユウ●プライス●ヒユウスの死にたる後、其の娘の一人父の傳記を書きしが　其のうちに彼は信仰によりて其の靈的の門戶の開かれしと同時に理性の門戶も開かれぬとあり。我が此世にて失ひし友もまた此の如く愉快なる開發をなしたり。我は其の人よりも年齡に於て長し、また教育に於ても、信仰に入りし前後より云ふも彼の先輩なれど時として我は彼を姉の如く思ひ、また時としては母の如くに感ずることもありたり。げに彼は信仰によりて生涯の規模を廣く且つ大いにせられしなり」云々と。

やがてまた或る人も件の夫人より連想し已が敎に導かれし夫人のことを語り出で、信仰が人の靈魂を開發し、驚くべき進步をなさしむるものあるを讃美せられたり。大いなるかな信仰の力。

我等は斯かる愉快なる事實に對し、己が弱き志を勵まし、衰へ易き心を奮ひ起さしめられざるを得ず。我等は己が理性の發達鈍くして、品性の進步遲きを見、時としては失望せんとすることなきにあらず。されど我等の周圍には我等を刺激し、我等を奬勵する斯の如き事實に充てり。げに「神は其の善き意を行はんとて我等のうちに作用き、我等をして志を立て事を行はしめたまふ」ぞかし。

上を見よ

我が幼けなかりし頃、祖母は折にふれて古への武士の心がけなど語りて戒めたまひしが、今に深く我が心に刻まれて忘れざる敎訓も少からぬことなり。其がなかに「上を見よ、下を見な」との諺を引きて、上を見れば際限なし、隨つて樣々の非望を企て不平を起し、失望に陷ることも多かり。ゆめ上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をな見そ。下を見れば己れよりも憐むべき境遇のもの少なからず、之を思ひ遣りては己が境遇に滿足するを得べく、徒らに功名に驅らるゝやうのこともなからんと云ふがありき。此は道理あることにて、或る天文學者は空の星をのみ仰ぎ見て歩みし爲め、井の中に墜ち込みたりと云ふにあらずや。理想のみ高くして實際に疎く志のみ大いにして力之れに添はざれば、時として斯る愚かなる結果に陷ることなきにあらず。然れども「上を見な、下を見よ」との教訓は、極めて消極的の氣風を造り、内省的の道德に偏し、活動せる人生を送らしむる所以にあらず。

エドワルド、ホオル歌つて曰く、

「上を見よ、下を見るなかれ、
外を見よ、内を見るなかれ、
前を見よ、後を見るなかれ、
手を貸し與へよ。」

と或る友曾て大佛の眼につきて研究せることあり。奈良の大佛の眼は地上を眺め、鎌倉の大佛の眼は其れよりも稍上を見つゝが如し。我國に於ける佛像の眼は凡て下向きなり。此は慈眼愛憐もて下界の衆生を憐むの意を現はせるものならん。然るに西洋の繪畫に現はれたる聖徒、天使、若くは基督の姿の如き其の眼を天に向け居るものの多きは、彼我の宗教的理想の著しき相違を示せるにあらずや。美術のみならず、道德に於てもまた之を同じ傾きあり。我は曾て祖母の膝下にて「上を見な、下を見よ」と訓されしかど、今は其を顚倒して「上を見よ、下を見な」と說くの更に大切なるを感ずるものなり。

突き貫くまで進むべし

曾て新島襄氏京都の同志社を卒業する男女の學生に向ひ、諸君今や經驗乏しき身を以て社會に出でんとす。思ひも寄らぬ多くの障礙に出逢ふことならん。されど諸君はかの潺々たるに溪流に學ぶべし。小川の流れ行くや大なる岩其の前に横はりて進路を妨げらるゝことあり。水は之に當りて碎け、快く流れ來りし勢ひも、之が爲めに挫かるゝことあり。されど水は少しも之に屈せず、幾度も〳〵其の妨ぐる岩石に突き進みて、遂には其の頑固なる障礙をも突き貫きて前に進むにあらずや。諸君の世に處するの秘訣また此にあり。自ら屈する勿れ、妨ぐるものを突き貫くまで進むべしと訓されしことあり今月は學期の終なり。多くの若き女子は樣々の抱負と希望と理想とを胸に躍らせて世に出でらるゝことならん。新島氏の親切なる忠告はまた諸君の學ばるべき適切なる忠告にあらずとせんや。

現今横濱に在留せらるゝ米國宣教師バラ氏は、今を去る四十五年前傳道の爲め我國に渡來せる人なり。其の夫人は其の當時僅かに二十一歲、而かも六ケ月以前に結婚せられ、萬里の異鄕なる神奈川成佛寺と云へる古寺のうちにて結婚後の新生活に着手せられたるなり。同夫人が日本への便船を待ちて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上海に滯在せられたるとき、同地に在留せる監督敎會のブウン監督之を勵まして云ふやう、『御身は年いと若し。人生の苦難の爲めに氣を挫き力を落したまひそ。宣敎師として必要なるは忍耐あり。飽まで忍耐せよ。困難に撓まず、十字架の傍近くに立たれよ』と。夫人此の老練ある長者の訓を深く心に留め、此の言によりて屢ば志を勵まされたり。是れ豈に獨り傳道の事業に從ふものの戒めのみならんや。

會　報

横濱共立女學校青年會

十月三十日、當校青年會各部の働きの報告會を開催す。集まる者約百名、青年會幹部を始め各部の報告あり其要點を擧ぐれば

傳道部、去る月越後新潟火災の際燒失せし新潟敎會へ再築費の一補助として金五圓寄附せり。

矯風部、音樂敎師として當校に奉職せし板橋みや姉先頃病魔に犯されつゝありければ之に見舞ひを贈りたり。

祈禱會部、仙臺北學院敎授笹尾博士を請じて當校生徒の爲めに講話を請ひ十月九日午後三時より聽講せり。

慈善部、追々冬季に至れば編物會を開き其利益を以て特に悲境にある者等を幾分補助せんとす。

文學部、新任敎師の歡迎會を開く。同會は見聞の智識を磨き習得したる學術を練る上に於て益す進歩を見受く。

ウイルミナ女學校女子青年會

一、青年會々員總數	百六十九名
內正會員	六十四名
准會員	百〇五名
滿十八歲以上の正會員	二十五名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

滿十八歲以上の准會員　六名

二、當青年會は學生の基督信徒たらんと欲するもの丶決心を强固ならしむために出來得るだけ努力致し居り候。

三、青年會聖書研究會組織、毎日零時四十五分より一時迄十五分間各級に於て有之候。

研究の方法及び科目、教師より講義を受けず生徒相互に之を讀み研究致し居候、而してその讀む場所は各級によりて異に致し居候、そは學校のバイブルクラスと關係を有する所を教師より指定せらる丶事に相成居候。

バイブルクラス數、七。

四、當青年會には學生等に福音傳道の精神を發達せしめん爲めに努力し殊に傳道委員なるものを各級に置き專ら其任に當り居候。

傳道委員は毎週一回委員會を開き各級の狀態に依り其傳道の方法等に付て相謀り、學生等の福音傳道の爲め全力をつくし聖書研究會又は其他の集會にも誘導し、其他出來得る限り便宜を與ふる爲め日夜働き居り候。

五、青年會の開催する集會、毎週一回各級に於て祈禱會を開き、一ヶ月一回全校合併の祈禱會有之候、又牧師を請じて講演會を催す事も有之候。

青年會事業、當會より毎月金四圓宛汎受扶殖會に送り一人の孤兒を養育致し居り候。

昨年度中最も有益なりし集會は六月三日に於ける木村淸松氏の講演會にて、事業としては孤兒を養育せし事に候。

當青年會も天父の篤き御惠に依り何等の困難もなく今日迄續き會員の手の中に維持し來られしを深く感謝致し居候、設立以來日未だ淺くして特殊の事業には着手出來ざりしも全會員擧て信仰を養ひ今後取る可き働の强固なる基礎を造るに力を盡し居候間徐々たりと雖も確固たる進歩を致し得べしと信じ喜び居申候、何卒我々弱き者共の爲めに篤き御祈あらん事を切望致し申候。

左の晩近に於ける摸樣御通信申上候。

各級に於て以前の如く毎週一回祈禱會を開き、總體に活氣あり、決心者の爲めには毎水曜特別集會を開き深井坂野の兩姉熱心に盡力せられつ丶あり。

十月三十一日午前委員會を開き補缺委員を撰擧す、之は一年生には未だあらざりし、祈禱會員、慈善委員、親睦會委員等なり。

十一月十一日午後深井姉司會の下に講話會を開く、當日の辯士は今井牧師にして佛教より基督教への改宗實驗談をせられたり、同牧師の祈禱を以て閉會す。

十二月第三の週間を以て四十一年度中の祈禱會は一先づ終を告げたり。

一月十二日午後三時、役員會を開く、深井姉の祈禱を以て開會、此學期間に於て本校生徒一般の操行をして善化せしめん爲めに本會は全力を盡さん事と其方法等を謀り、次に委員の補缺をなし、山本姉の祈禱を以て閉會す。

一月十三日午後三時、講堂に於て青年會大會を開く、但し此

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日は生徒相互に此學期間に取る可き方針を謀り且つ各自注意すべき點、改む可き點等に付き相談せん爲め敎員の出席を斷り深井姉の司會にて開會讃美二〇八、聖書詩篇百三十三篇司會者の祈禱に亞で諸姉の有益なる勸告又は熱心なる祈禱あり各自此學期に於て大に奮闘し會の發展を期し散會す。

一月二十二日、高等科青年會祈禱會を開く、題は神我等と偕に居ます、司會者山本きよ姉、聖書約翰傳十章自一節至十四節讃美歌二一一、題に付き司會者の勸め、讃美歌二一四に亞で數名の姉妹の感話及祈禱ありて最後に主の祈りを以て閉會す。

此學期より高等科を除きては各級とも凡て青年會の祈禱會は水曜日に開く。

大坂プール女學校女子青年會

一、青年會々員總數　九十八名

内正會員　八拾二名

准會員　十六名

滿十八才以上の正會員　五十一名

滿十八才以上の准會員　八名

二、生徒個人としては直接傳道の場合少なけれども青年會の事業の爲め働き、其活動の情況を見聞し且つは未信者も時としては働きの一員となる等によりて好果ありき。

三、當校内には每朝禮拜後聖書研究あれば青年會としての研究は別段なし、學校のバイブルグラスは現今六組を有し科目各自異なり居れり。

四、福音傳道の爲め大に努めたり、或る生徒は一定の方法によりて未信者を各々に分割せられ殊に責任を思ふて祈り又導者の任を負ひ、其他大抵日曜日の夕食後寄宿舍生徒は祈禱會を開き學生間或は己が家族に福音の傳道使命のために祈る平素實行し居れり、是等は個人に屬する事にて團體としては紡績會社を少なくも一週一度ば訪問して傳道の使命を果し居れり、當青年會に員の内三十餘名は六日曜學校敎師として活動し居る爲め學生間に傳道の精神非常に發達し居れり。

五、例會としては每月一回開催し各部の報告亦は講話を聽問し居れり、此外青年會に關係を有せらるゝ知名人の御來校を機とし臨時集會を開きたる時に屢々あり。

現今事業の種類は日曜學校部祈禱部慈善會部慰問部の各部にて祈禱部は每週火曜日の午後零時三十分より三十分間、金曜日の午後六時より一時間之を開き、慈善會部は金曜日の三時半より五時迄裁縫編物を主として働き日曜學校慰問部は前記の通りなり。

昨年度中有効なりし集會は七月に開かれたる女子青年會の夏期講習會にて本會よりは敎師一名生徒一名總代として來會せられ開校後兩師とも精密に情況及び大切なる講話を會員一同に報告せられ多大の益を得又十一月八日より四月十四日に至る聯合祈禱會には每朝開催し、會員の内敎師司會者として短かき、しかも適切なる奬勵を致され、此會によりて神の聖なる事に就き一層深切に各人の心に感じを與へられ一週の後感謝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會を開きたり。
事業の有効なりしは慰問の働きにて實に其任に當らるゝ會友は教師と共に夜をそく迄或は寒日をも犯して親しく工場にまて出入し居れり。
今一つは日曜學校にて頑童を辛くも導きて福音を聞かせる事を日曜日の最大の喜びといたし勵み、兒童の家族の者共は非常に感謝し居れり。

名古屋聖使女學院支部女子青年會

一、四十一年十二月十二日午後三時より開會深野裁判所々長の民法講義ミスバットンの言葉と云ふ題に就き講話あり午後五時閉會來會者二十名。
一、四十二年一月六日午後一時より新年會開催ヤコブ教會木田牧師の感話あり餘興として會員の演藝などあり午後五時閉會來會者三十三名。

小石川區指ケ谷町 傳道女學校女子青年會

四十一年十一月四日附報告、
講堂及學校改築の故を以て九月中三度の集會を閉ぢられ候ひしが十月落成致せしに依り第二金曜に第四期青年會を初めて開會し以後引續き毎週金曜日午後三時半より開き候。
會の種類、講話會、經驗會、役員祈禱會、役員協議會、會の總數、七回、內譯、講話會二回、經驗會二回、役員祈禱會二回、役員協議會一回、會員總數、八十五名、內譯、正會員六十九名、退會者四名入會者六名、轉會者一名。
九月廿一日より三十一日迄(日曜日を除き)少許の役員は毎日午前六時同所に集會し心を一つにして熱心に祈禱せし結果此度六名の姉妹が入會するに至りしは偶然のことにあらずひたすら主の恩惠を感謝致し申候。
四十二年一月末報告、
一、青年會々員總數　三十一名
內正會員　三十二名
准會員　十九名
十八才以上の正會員　三十一名
十八才以上の准會員　九名
二、本校は既に基督信徒にして傳道に志ざし居るものの入學する處なれば本項に對し答ふるを要せず、然しながら本校傍聽生に對し青年會は基督信徒ならむと決心をなさしむる力ある事を信ず。
三、講話會、經驗會、親睦會など有りて女教師或は役員大凡そ隔週毎に交る〳〵講話し又恩惠を證し或は經驗せし事どもを語りて聖書の研究にあて、祈禱會ありて一同前途の祝福を祈り、親睦會ありて互に親睦す、役員祈禱會役員協議會ありて役員は會の働きに付て協議し或は祈りて力を求む。
聖書研究法は格別定りなし、科目も定りて立てず、大凡和譯新約全書の章或は句に就きて。
バイブルクラス、一度

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四、福音傳道の爲め會員住宅を訪問し、聖書を讀み又互に交通して悲しみを分ち又日曜教會へ招きたり。

五、講話會、經驗會、聖書に就て研究する集り、祈禱會、役員協議會、役員會祈禱、親睦會、祝降誕會。

青年會にて起せし事業と云ふにあらざれど會員たる女教師は未信者の爲め英語を教へ亦裁縫科を設けたり。

六、訪問して交通を計り聖書を讀みし事など大に結果よかりき、役員心を一にしたる早天の祈禱は慥に會の祝福を賜はり以後會の模樣昨年にまされり、最も有効なりし集會は格別なかりき。

四十二年一月分報告

集會數、講話會二回、經驗會一回、役員祈禱會一回、合計四度。

集會者總數、八十六名、內正會員五十六名、准會員二十四名客員六名。

宮城女學校基督教女子青年會

一、青年會々員總數　百三十五人
　內正會員　五十三人
　准會員　八十二人
　滿十八才以上の正會員　四十三人
　滿十八才以上の准會員　三十人

右の外名譽會員二十四名あり。

二、學校に設けられたる祈り會又青年會の祈り會には姉妹方正會員の熱烈なる諸感話、祈り、聖句の朗讀等によりて基督教信徒たらむと欲し決心を强固ならしめんがため准會員等も聖句を誦じ或は讃美する者多し。

三、青年會聖書研究會として特別になく毎月の祈禱會の時或る聖句を前々より揭げ置き司會者と共に其會に臨む者は其句に就ての感を述ぶるにあり。

バイブルクラスは學校に於て毎日各級とも三十分宛學課としある故に青年會のは別になし。

四、正會員は殆んど日曜學校の教師となりて仙臺市內外に赴き或者は二つの日曜學校に働き、遠くに日曜學校を有する者は晨に月を頂きて出て夕に星を踏んで歸宿するの有樣なり。

五、青年會にては毎月第二の水曜日に祈禱會を催す、親睦會音樂會を開催して校外にある女子青年に基督教青年會の存在を示しぬ、學校所有の讃美歌を取扱ふ任を引受く。

昨年度に於て開催せる音樂會最も有効なりき、殊に毎月の祈禱會は例年に比して熱心に且つ准會員にありても喜び勇みて會に臨む。

盛岡女子青年會

一、青年會々員總數　七十九人
　內正會員　四十九人
　准會員　三十人
　十八才以上の正會員　三十六人
　十八才以上の准會員　九人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右外上閉伊郡遠野町に支部ありて十餘名の會員あり。

二、青年會は學生の基督信徒たらむと欲する決心を强固ならしむるに力ありしと信ず。

三、聖書研究會を組織するに當りて左の五部とせり、(便宜上凡そ學校別)

縣立盛岡高等女學校組、私立盛岡女學校組、學校卒業生又は單に家庭にある人、病院看護婦の組、敎師の組、

各組(敎師の組は除く)に敎師とも見る可き一人の組頭を置く、斯くて先づ敎師の組は會を開きて馬可傳に就て研究しおき夫れより各組を敎ふる事になしつゝあり。

四、福音傳道の發達を計らんことを努め毎月第一の日曜日午後(大抵二時より四時迄凡そ二時間又に一時間半)を以て例會を開き其他時々講習會親睦會等を開き或は聖書研究會に英語會に其發達を圖りたり。

五、例會、親睦會、講睦會、聖書研究會、英語研究會等前述と等し。

昨年度に於ける有益なりしと思ふ集會は一月中の冬期講習會にして、川井、川島の兩先生を招きし會、尙四月に於ける川島まつ子氏(今の後藤夫人)を招きし信仰講話會、及び十一月同上夫人によりて開かれたる同性質の集會等なり。

○小石川バプチスト女學寮　の開寮式は本月六日午後二時アックスリング氏司會に依て執行されたり祈禱聖書朗讀の後、司會者は先づ女學寮とは何ぞやと題し(一)は理想的家庭となるにあり國家の運命は決して其軍隊或は富に依つ進歩するに非らず、家庭は實に其根本的必要のものなるなり、箴言には賢き婦人は家を建て愚なる者は家を亂すと誠に然り故に善良なる家庭を造るは實に國家に貢献するものなり、(二)學寮は敎育所たらざるべからず、東京は誘惑多き場所なり否東京のみならず、總ての大都會は悪人と悪業のある所なり、故に女子にして東京に來るものは實に危險なり故に此寄宿舍に於て女子の本分と其資格の何たるゝとを敎へて尊き品性を養成せしむるは學寮の大目的なりとす、而して此學寮の頭は人に非らずして基督に在り、基督を模範として進むべきなり、」と述べて當日の演説者吉川氏を紹介せられ、同氏は立つて男女の品性人格を煉るは實に中學時代に在りとす、特に諸方より東都に來つて學習するものは人生に於ける最も緊要なる時代なりとす、即ち千萬の誘惑は彼等を圍繞して彼等の眼には虚榮奢侈の風映じて危險なりと稱すべし茲に此寮を設けて來會者の品性を養成せんとす、之れ決して宗派を擴むる爲めにも非らず、又只所謂傳道の爲めにも非らず、然も基督敎主義を以て來宿者の品性を養成せんとするなり」云々、終りにアックスリング氏の献寮の祈禱ありて式を閉じ　茶菓の饗應あり、各室を案內して來客者に觀覽せしめたり、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外報

○パリス女子青年會　×二ヶ年前に英米聯合女子青年會設立せられ追々好都合の由なるが現在の場所は學生の中心にして特に美術研究生の集合することゝなり居れば青年會は其女學生間には有益の働きをなしつゝあるなりと、

○英國青年會とルーズベルト氏　英國青年會の中央委員會は來年ル氏の英國に遊ばるゝ由を聞き、同氏が青年會大會に出席して一場の演説をなさんことを懇請しつゝありと云ふ

○萬國學生大會　今年は英國ヲッソスフヲルドに於て開かれんとす期日は七月十五日より十九日までにて定めて盛なる會合ならん

○萬國青年會　右大會に引續き獨逸ベーソン、エルバーフエルドに於て一般青年會大會を開かるゝ由以上兩會出席の爲めに丹羽清次郎氏六月初旬日本を出發さるゝと云ふ、

○ケレブリッシ大學に於けるモット氏　は三回（日、月、火、）の大集會を開きたりしが同大學に於ける空前の大集會にして其集會は專ら傳道的のものにして聽衆の數、演説者の雄辯、一致の精神は實に愕くべくものなるが特に愕くべきは來會者の心に與へたる靈的革新にして第二回集會に殘りし者にて明かに基督を信ずることを表白せしものは實に多數にして、モット氏は會衆の指導者に對し諸君は求道者の爲めに空前の大責任を負へりと云へり又同氏は會衆に向ひ余の諸君に勸めて持せられんことを欲する希望は他にあらず即ちキリストイエスの中に於て發見すべきものなり、余が二十年間の經驗に依つて基督を信ぜしものにして未だ一人も失望せしもの非らずと之れ事實なり。

女子青年會廣告

第一寄宿舍　牛込區納戸町

第二寄宿舍　小石川區水道町

（本月末落成）

右兩舍に入舍せんとするものは同舍若しくは青年會宛問合さるべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

YOUNG WOMEN OF JAPAN

Vol. VI. *March, 1909.* *No. III.*

Miss M.A. Whitman, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss A.G. Lewis, Recording Secretary
Mrs. G.M. Fisher, Treasurer
Miss Michi Kawai, Active Member of the World's Committee
Miss Sumi Miyagawa, Corresponding Member of the World's Student Christian Federation

Resident Members	Non-Resident Members
Miss A. B. West	Miss K. Tristram, Osaka
Dr. Tomo Inouye	Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Miss Hama Hirano	
Mrs. Hana Ibuka	
Mrs. Koharu Nakajima	
Miss Uta Suzuki	

Miss A. Caroline Macdonald,
General Secretary

Headquarters:— 15 Dote Sanbancho, Kojimachi,
Tokyo

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する機關雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督教女子青年會は青年女子の衛生、社交、智識、靈性上の發達を計るための團體也。

一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長　エム、エー、ホイツトマン
副委員長　岡見京子
記録書記　エ、ジー、ルイス
會計　フイシヤー
萬國基督教女子青年會同盟委員　河井道子
萬國學生基督教同盟會委員　宮川すみ子

東京在住委員
津田梅子　渡部瀧子
エ、ビー、ウエスト　井上友子
平野濱子　鈴木歌子
中島小春　井深花子

地方在住委員
大坂　ケー、ツリスツラム　京都　松田道子
京都　ジ、エス、フエルプス　仙臺　エル、ザフルー
名古屋　イ、エム、ソーパル　廣島　エヌ、ジー、ゲインス

日本女子基督教青年會幹事　エー、ジー、マクドナルド
同副幹事　エス、ジー、フキツシヤー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年三月十五日發行

YOUNG WOMEN OF JAPAN

Vol. VI. *March, 1909.* *No. III.*

CONTENTS

EDITORIALS: –

One Thing is Needful

The Gospel for Women

CONTRIBUTED:—

Blessing and Work. Prof. E. Kashiwai.

Ways of Woman's Culture Mrs. H. Ibuka.

SERMONS:—

A Woman Who served Jesus. Rev. M. Uyemura.

Education of Girls at the Beginning of the Meiji Era. Mrs. C. Sakurai.

BIOGRAPHIES:—

David Livingstone (2)

MISCELLANEOUS:—

Gate of The Spiritual and Gate of the Intellectual

Look Above.

Push beyond the Limit.

REPORTS:—

Foreign News;—

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA